

利用学習計画書

平成25年 4月17日
担当 第6学年 木村雅之

1 ねらい

「縄文の森広場」の展示資料の見学や、石器作り等の体験学習を通して、縄文時代の生活の様子を知る。

2 評価

「縄文の森広場」の展示資料の見学や、石器作り等の体験学習を通して、縄文時代の生活の様子を知ることができる。

3 学習活動について

「社会科」単元名：日本の歴史（自分たちが住む地域に残る歴史を探す）
地域に残る歴史（ここでは特に縄文時代の遺跡を取り上げる）を調べ、当時の生活の様子や人々の工夫を知り、調べたことをまとめることができる。

4 事前指導

- ・山田遺跡・縄文の森広場の概要を知る。
- ・縄文時代の暮らしについて大まかに知り、さらに詳しく調べたいことを決める。

5 当日の指導（活動）内容

（1）施設の方へのお願いのあいさつ

（2）見学学習

館内展示や野外展示を見学する。（探検シート利用する）（60分）

（3）体験学習

3グループに分かれ、石器作り・石のアクセサリ作り・編布の体験学習に取り組む。（80分）

6 当日の交通手段 市営バス

7 事後指導

見学、体験学習をもとに、縄文時代の生活について、個人新聞を作成する。

平成26年 3月20日

利用学習報告書

仙台市立立町小学校
担当 第6学年 木村 雅之

1 事後指導について

(1) 実施日

平成25年4月18日(木)～4月30日(火)

(2) 主な内容

- ・社会科の授業で、展示学習の中で調べた事や受けた説明について確認しながら、旧石器時代と縄文時代の学習のまとめを行う。
- ・体験学習や展示学習を通して分かったことや感想を新聞にまとめる。

2 送付する資料

(1) 児童の感想(1点 1名分)

男子H

縄文の森を訪れるのは初めてでした。たくさんの展示物があり、縄文人の暮らしがとてもよく分かりました。特に、竪穴住居は資料集などの写真で見たことはありましたが、実物を見て驚きました。中は予想以上に広く、キャンプをするのなら快適に過ごせそうで、わくわくしました。しかし、毎日の生活となると、暑さや寒さ、雨風をしのがなければなりません。やはり、今の暮らしの便利さ、快適さに感謝の気持ちを持ちました。

体験学習では、勾玉を作りました。なかなか思うような形にならず苦労しましたが、根気強く取り組み、形を整えることができました。縄文時代でも着飾ることを意識していたことに驚きました。

今後は、家族と一緒に行ってみたいと思います。弟たちにも勾玉作りを教えて、一緒に楽しみたいです。ありがとうございました。



(2) 学級便り (1 点)

郷音 ～ひびき～

第6学年便り No.3 H25. 4. 26

校外学習「縄文の森広場」

4月17日(水), 太白区山田にある「縄文の森広場」に行ってきました。教科書や資料集では見ていた「竪穴住居」でしたが, 本物を見ると, 新しい発見がたくさんあります。入り口のサイズから, 縄文人の背丈を考えたり(大人でも150～60CM), 焦げ臭いにおいをかいで, 竪穴住居の弱点(湿気が多い)に気付いたりすることができました。

体験活動は「編布(あんぎん)」「石器」「勾玉(まがたま)」つくりを

行いました。皆集中して取り組み, 思いで深い作品を作ることができました。

館内の見学も集中していて, 担当していただいた縄文の森広場の平塚先生にもたくさんお褒めの言葉をいただきました。

現在, 新聞づくりを行いながら学習のまとめをしています。



一言感想

- (A) 竪穴住居はこげくさい感じがした。たくさんの工夫を見つけた。
- (B) 縄文人が生活している模型があった。狩りの様子がよく分かってよかった。
- (C) 縄文人の服を着てみた。今風な感じもした。縄文人はおしゃれだ。
- (D) 大きな土器に驚いた。
- (E) 勾玉が上手にできた。
- (F) 石器は、力を入れすぎるとうまく作れない。加減が難しい。
- (G) アンギンは集中力が大切だ。間違えないように頑張った。
- (H) また行ってみたい。家族と一緒に行ってみたい。